

可燃ごみ処理施設専門家委員会について

■設置目的

施設の稼働における事象で、学識経験者の見解を得て対応することが望ましい内容について検討すること。

■検討事項

1. 公害の防止、対策に関する事
2. 公害の監視方法に関する事
3. その他周辺環境の保全について必要な事項

■委員

- ・委員長：宮脇健太郎氏（明星大学理工学部教授）…環境影響評価、環境負荷
- ・副委員長：荒井喜久雄氏（全国都市清掃会議 技術指導部長）…廃棄物処理の調査研究・提言
- ・委員：櫻井達也氏（明星大学理工学部教授）…環境影響評価、大気汚染
- ・委員：荒井康裕氏（東京都立大学都市環境学部准教授）…廃棄物処理、リサイクル分野

■第2回委員会（2月17日）での主な意見

1. 環境定点測定について、多摩市愛宕にある大気汚染常時監視測定局の地点のような住宅街と大気質などと比較することは重要。
2. 構成3市で行っている水銀回収キャンペーンは継続することが大切。
3. 見学対応について、SDGsへの関心が高まっていることから、社会科見学の小学生に対しても施設の持っている役割とSDGsへの貢献をあわせて説明すると良い。
4. 児童用見学パンフレットに災害時の組合の対応などについて、記載がない。災害時でも動き続ける施設であることを児童に理解してもらい、身近に感じられるPRを行うべき。

■第3回専門家委員会

8月2日（水）午後2時から開催予定